



わたしたちのまち「おぢや」は、昔から道路除雪や環境美化など、みんなで協力しながら暮らしやすいまちをつくってきました。また、新潟県中越大震災では、大きな被害を受けましたが、住民同士で助け合い、みんなの力で復興を果たしました。

こうした支え合いの形をさらに地域全体に根付かせ、より進化させるための第一歩として「小千谷市 市民との協働ガイドライン」を策定しました。

このガイドラインは、小千谷市における「協働」の基本的な考え方や方向性を示したものです。今後は、これを活用し、みんなが「協働」に対する理解を深め、もっと暮らしやすく、笑顔が輝くまちを目指します。

令和2年3月策定
小千谷市 市民との協働ガイドライン

01 そもそも「協働」って？

人口減少や少子高齢化が進み、私たちの周りは大きく変化しています。一人ひとりが感じる課題はそれぞれですが、こんな風に暮らしたいという希望を持ち、笑顔で暮らせるようにしていくにはどうしたらいいのでしょうか？

「協働」とは・・・

市民をはじめ地域、団体、企業、学校、行政がさまざまな目的や課題解決に向かってそれぞれの力を合わせて取り組むことです。

◆「協働」のステップ



◆「協働」のポイント

- ◇ 対話 …… みんなでたくさん話し合う
- ◇ 共有 …… 何のために一緒に行くのか確認する、秘密にしない
- ◇ 対等の立場 …… 押し付け合わない、責任を分かち合う
- ◇ 相互理解 …… お互いのことを知り、理解し、信頼する

みんなで力を合わせると、
もっと暮らしやすい
まちになっていくよ！



02 みんなで目指すまちって？

市民をはじめ地域、団体、企業、学校、行政がみんなそれぞれの力を合わせて、もっと暮らしやすく、みんなの笑顔が輝くまちを目指していきませんか？

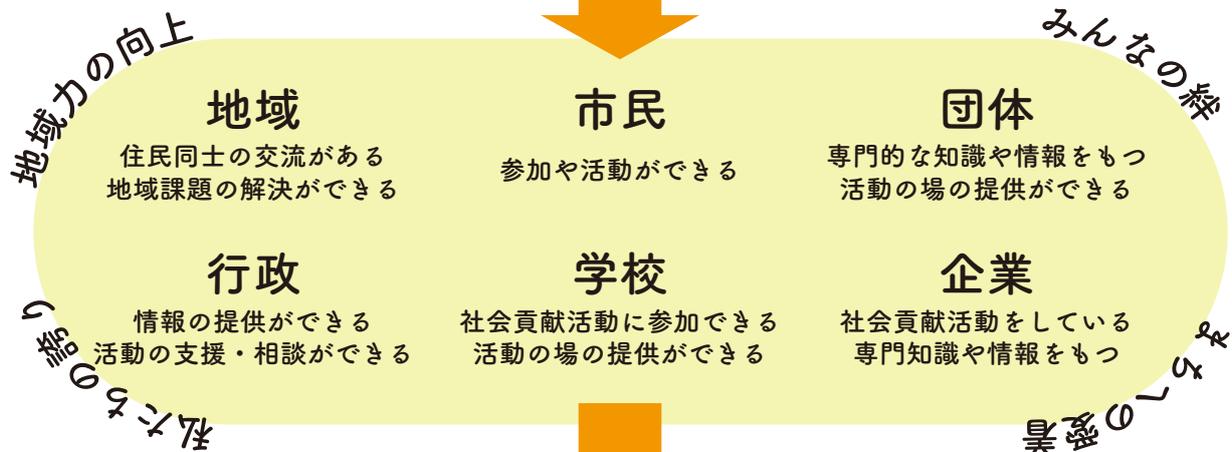
こうなったらいいのにな
困ったな、どうしよう



小千谷市や住んでいる地域など

目的や課題

みんなで力を合わせると

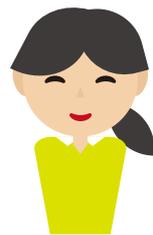


目的達成・課題解決！



みんなの笑顔が輝くまち

一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために



03 みんなの力が集まると？



一人がみんなのためにできること

私たち一人ひとりがまちづくりの力を持っています。まずは、一人ひとりが地域に関心を持つことが大切です。こんなまちになったらいいなと考え、そして、できることから行動する。これが暮らしやすいまちへの第一歩です。

<例えばこんなことから始めよう>

- ◇「広報おぢや」を読んで、地域情報やイベント情報を見つけよう。
- ◇地域での活動やイベントに参加してみよう。
- ◇近所の方にあいさつをしたり、清掃活動や町内活動に参加してみよう。
- ◇緊急時に備え、避難場所や危険場所の確認をしよう。

みんなの力が集まると大きな力になる

一人ひとりの力は小さくても、たくさんの人が集まると大きな力になります。年齢、性別、国籍を問わず多様な人の知恵と行動力が集まることで、新しい力や大きな効果を生みだします。

みんなで助け合い、支え合って生まれた絆は、未来への大きな力になります。

参加

市民活動団体を創る
地域活動などの活性化

環境美化

資源ごみ回収
地域で花壇づくり

防災

近所の安否確認
地域で防災マップ

情報収集・発信

活動の情報交換
会報誌の発行

見守り

通学路の見守り

防犯

防犯活動の話し合い
見守りや草刈りで安全確保



04 それぞれの役割分担って？

みんなの力を合わせ、暮らしやすいまちにするために、市民、地域、団体、企業、学校、行政それぞれの強みを活かし「役割分担」をすることで、より効果的なまちづくりができます。ここでは、雪深い小千谷市ならではの事例で役割分担を見てみましょう。

市民協働でおこなっている 小千谷の除雪



<市民（個人）の役割>

- ◇自宅周辺の除雪
- ◇家族や親戚の家の除雪
- ◇近隣の除雪の協力 など



<企業や行政の役割>

- ◇道路や施設の除雪
- ◇除雪エリアの区分け
- ◇大雪時の緊急出動 など



<地域や団体の役割>

- ◇流雪溝や消雪パイプの管理
- ◇除雪ボランティア
- ◇アーケードの雪下ろし など

* 克雪都市宣言・・・小千谷市では、冬の豪雪を克服し、雪を資源として利用できる暮らしやすいまちにするため、全市民が力を合わせ取り組むことを誓い、「克雪都市」を宣言しています。（昭和54年8月17日議決）

05 地域で困っていることって 本当に解決できるの？

社会の変化とともに、地域で暮らす人の生活や環境は日々変化しています。「困ったこと」を周りの人と共有することで、自分だけの悩みだと思っていたことが、実はみんなも悩んでいたことかもしれません。みんなで考え、力を合わせることで、解決できる可能性が生まれます。

ここでは、地域の悩みをみんなで解決している事例を紹介します。

岩沢地域での取組事例 地域コミュニティバス



◇公共交通機関の路線廃止

バスに乗れない。
自分で買い物や病院に行くことが出来ない。
どうしよう・・・

お家とバス停までの
移動ができれば
解決できるかな？

みんなで解決方法を考える

町内会や地域振興会、行政や企業それぞれの立場
でどうやったら解決できるのか考えてみよう！

みんなで力を合わせて、困っていた
ことが解決できた！
上手くいったところ、失敗したと
ころもあるから、みんなで定期的
に見直しをしようね！

利用できる制度や他の地域で既に取り組ん
でいる事例を参考にしてみませんか？

私の会社の前にバス停があるので、
お手伝いできますよ！

それぞれが協力できることや役割を決めることで、
コミュニティバスの運行が実現！

<コミュニティバスの仕組み>

利用者：岩沢住民センターに申し込む

市民：運転手（岩沢地域振興協議会への登録）

地域：コミュニティバスの申込み受付、運行管理、維持管理

企業：バス待合所の整備

行政：車両の貸し出し、整備

コミュニティバスは、公共交通機関との接続までの移動を支援しています。



06 どんな活動が行われているの？

小千谷市では、みんなの力で暮らしやすいまちをつくっています。
もっと暮らしやすく、「笑顔が輝くまち」になるために、みんなでさらに力を合わせましょう！
この他にもさまざまな活動が実施されています！



みんなの手できれいなまちへ 地域の清掃活動や施設の維持管理

町内のごみゼロ運動や市が管理する道路・公園の除草など、地域で協力し合って環境美化に取り組み、快適なまちを維持しています。



地域の暮らしはみんなで守る 消防団や自営防災訓練

各地域で自主的な備えや防災訓練を行っています。いざというとき、地域住民が助け合ってみんなの暮らしを守ります。



みんなで助け合う地域の子育て ファミリーサポート事業

用事などで子どもを一時的に預かってほしいとき、会員が代わって育児をお手伝い。地域ぐるみで子どもたちを育てます。



みんなで盛り上げるまちの大イベント 市民総参加のおぢやまつり

町内会、市民団体、事業者、行政、子どもからお年寄りまで、みんなが一体となって楽しみながらまち全体を盛り上げます。



みんなで考える小千谷のまちづくり 委員会や計画づくりなどへの参画

これからのまちづくりを行政とともに考えます。「こんなまちになってほしい」の声を形にして、住み続けたいまちを目指します。



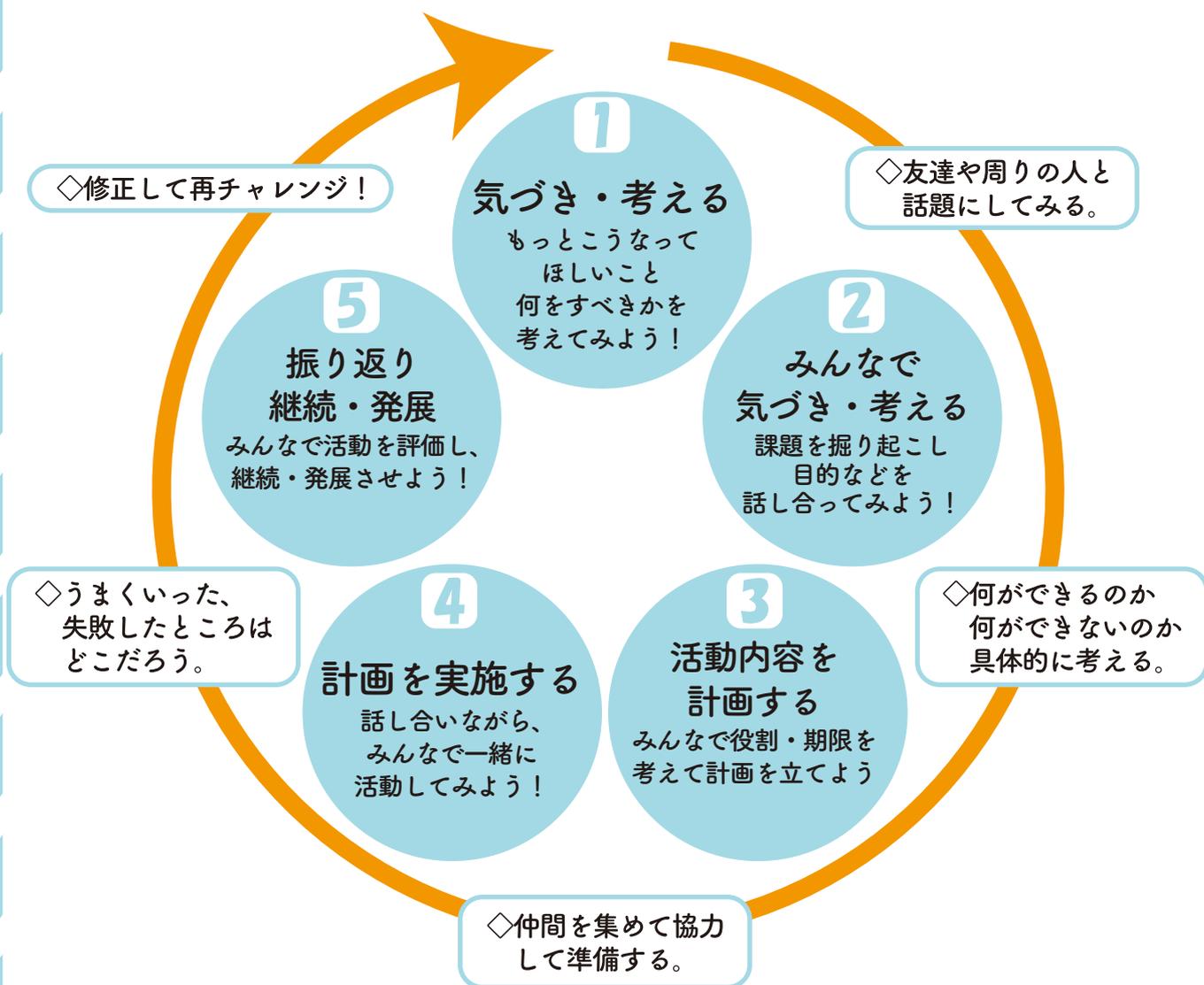
みんなで支え合う高齢者の困りごと 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターが調整役となり、高齢者の生活の困りごとを町内会や福祉会、住民同士で支え合う仕組みをつくっています。

小千谷市では活動をさまざまな形で支援しています。
補助金、委託事業、共催、後援、減免、実行委員会組織、活動支援、計画策定の市民参画など
これらも協働の一つの手法であり、今後も時代の変化やニーズに合わせて協働のまちづくりを推進していきます。

07 どんな流れで活動するの？

こんなまちになったらいいな、こうなったらいいなの気持ちを行動にするとき、無理をせず、できることから楽しく活動しましょう。どんなときでも「話し合い」と「コミュニケーション」を大切にすることがポイントです。



「こんなまちにしたい」という前向きな気持ちを形にしてみんなでアイディアを出し合い、力を合わせて行動すると「みんなの笑顔が輝くまち」に近づいていきます。



08 小千谷市がすすめること

みんなで暮らしやすいまちをつくり育てるために、一人ひとりの力を大切に、活動する「ひと」を育み、つながる「しくみ」をつくり、支え合う「体制」を整えます。

「ひと」 を育む

- ◇ みんなで協働について考え、共有する
- ◇ 協働を実践する担い手の育成
- ◇ 協働を理解し実践する職員を育成

「しくみ」 をつくる

- ◇ 地域活動の情報を収集・発信
- ◇ 市の方向性や事業内容など積極的に情報公開
- ◇ まちづくりへの意見や提案を行うために、人が集まり参加する機会をつくる
- ◇ 行政の事業に市民協働を取り入れるしくみづくり

「体制」 を整える

- ◇ 様々な人の交流・連携の促進
- ◇ 地域団体や中間支援組織と連携した活動相談や支援
- ◇ 行政計画や事業における市民協働推進



一人ひとりが一歩でも踏み出せば、みんなの願いが実現できる。
身近な町内会、地域の団体、行政、地域づくり支援団体こしゃるなどに相談してみよう。
みんなの力を合わせて、「みんなの笑顔が輝くまち」を実現させましょう。

地域づくり支援団体こしゃるは、みなさんの活動を支援しております。
活動を始めたい方、団体運営でお悩みの方など、何でもお気軽にご相談ください。

地域づくり支援団体こしゃる

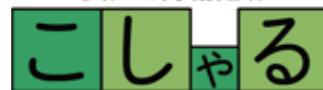
〒947-0028 新潟県小千谷市城内 1-13-20 (小千谷市役所分庁舎内)

TEL : 070-2209-2483 FAX : 0258-83-0871

メール : info@ojiya-kosharu.com HP : <http://ojiya-kosharu.com>



地域づくり支援団体



小千谷市 市民との協働ガイドライン

発行日：令和2年3月

発行者：新潟県小千谷市

編集：小千谷市役所観光交流課

〒947-0028 新潟県小千谷市城内 1-13-20

TEL : 0258-83-3512 FAX : 0258-83-0871